

平成27年度学長の業務執行状況の確認について

平成28年4月7日
学長選考会議

学長選考会議は、広島大学長の業績評価の実施に関する申合せ(平成26年6月10日学長選考会議決定)第3に基づき、下記のとおり平成27年度学長の業務執行状況の確認を行った。

記

1. 経過

(1)平成27年度第1回学長選考会議(27.6.25)

平成27年度学長の業務執行状況の確認方法及びスケジュールについて、検討を行った。

(2)平成27年度第2回学長選考会議(27.9.1)

平成27年度学長の業務執行状況の確認の実施方法、スケジュールについて、引き続き検討を行い、学長ヒアリング及び監事の意見聴取を基に実施することとした。

(3)平成27年度第3回学長選考会議(27.11.25)

平成27年度学長の業務執行状況の確認について、学長ヒアリングの資料となる報告書様式の検討を行った。また、監事から平成27年度監事監査状況について意見聴取を行った。

(4)平成27年度第4回学長選考会議(28.1.21)

平成27年度学長の業務執行状況の確認について、以下の資料に基づき、学長ヒアリングを実施した。

- ・望ましい学長像(26.11.14 学長選考会議決定)
- ・学長就任に対する抱負について
- ・学長の業務状況の確認報告書
- ・学長メッセージ(第1号～第16号)

(5)平成27年度第5回学長選考会議(28.3.24)

平成27年度学長の業務執行状況について、最終的な確認を行った。

2. 確認結果

広島大学が目指すべき大学像や大学運営に当たっての課題及び今後の取組み等について、学長ヒアリング等を実施した。学長のビジョンに基づく目指すべき大学像、すなわち「今後、10年以内に世界大学ランキングトップ100に入る総合研究大学」等が学内外に提示されていること、学長のリーダーシップの下で全教員が大学の教育研究に取り組む体制づくりの一環として、学術院の設置や、学長の諮問機関である「未来戦略会議」の設置が行われていること、また、大学のレピュテーションの向上へ向けたいくつかの取組が着実に執行されていることを確認した。